

環境への負荷が少ない商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

### CONTENTS

- 地産地消フェア ..... 1・2
- Report1「事業所見学会」 ..... 3
- Report2「自治体のグリーン購入研究会」 ..... 4・5
- Report3「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」 ..... 6

- 滋賀GPNの啓発ツール・出前講座 ..... 6
- エコに学べ! エコクリーン滋賀 ..... 7
- リレートーク (株)辻正 ..... 8
- 会員からのお知らせコーナー ..... 8

## 会員事業所や地域で展開! 「地産地消フェア」

滋賀GPNでは、2001年から「食のグリーン購入研究会」を組織し、日々の生活で最も購入頻度の多い「食」という分野のグリーン購入を推進しようと、セミナーや生産地見学会等を通して普及啓発活動を行ってきました。またGPN（全国ネット）においても今年度から6月、10月、1月の年3回、「買い物袋を持って、旬や地場の食べ物を選ぶ」をテーマに「GPN500万人

一斉行動キャンペーン」を実施して、会員に参加を呼び掛けています。

食のグリーン購入の取り組みは、地球温暖化防止や食料自給率向上、地域活性化にも繋がります。特に、地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消」を推進する活動が、身近でわかりやすい環境行動として会員事業所や地域に広がってきました。

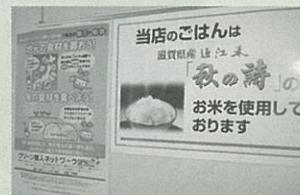
2008年10月、「グリーン購入キャンペーン」の一環として滋賀GPN会員約20団体の従業員食堂で実施された「地産地消フェア」の模様を一部ご紹介します。

### 会員事業所で実施された「地産地消フェア」



#### ■ダイキン工業 滋賀製作所

以前より環境こだわり米のご飯を提供されており、フェアでは近江米のポスターを掲示、食堂スクリーンに「環境こだわり農産物」を紹介するスライドを投影し、「地産地消」をPRされました。



#### ■滋賀銀行

ご飯とサラダに滋賀県産の食材を取り入れた定食メニューなどを提供。ポスター等でPRされました。



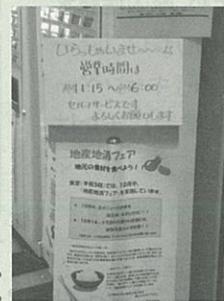
#### ■旭成住工

新鮮な地元の野菜を提供するサラダバー、滋賀県産のきのこや野菜がたっぷり入ったカレーを提供。ご飯は以前から「環境こだわり米」です。



#### ■NTT 滋賀支店

以前より毎月1日にフェアを実施し、環境こだわり米、県内産農産物の利用をPRされています。この日も約250人がこちらの食堂を利用されました。



#### ■大津市役所

10月中、全メニューに近江米・キヌヒカリを使用。日替わり定食に滋賀県産ナスを使用されました。



#### ■長浜キヤノン

10月から毎月1回、地産地消フェアを実施。県のキャンペーン「おいしがうれしが」をPRするのぼりやポスターを設置し、和菓子製造したねやの工場で製造過程に出る菓子端材で飼育された豚や、余呉湖産わかさぎなどを使ったこだわりのメニューが提供されています。



県内各地で実施されている環境関連のイベントにおいても、「食のグリーン購入」や「地産地消」をテーマとするものが増えてきました。長浜市で行われた事例をご紹介します。

## 地産地消をまちづくりの推進力に! 「北近江ブランドマルシェ」開催

2008年10月26日(日)、観光客で賑わう長浜の市街地中心部、曳山博物館の広場において新しい食のイベント「北近江ブランドマルシェ」が開催されました。このイベントの特徴は、長浜のバイオ技術も巻き込みながら、アンチエイジングという今日的なテーマで新しいレシピの開発を行ったり、新メニューを作り出したりするなど、単に地元食材を地元で消費するということだけでなく、マーケティングや調理方法などの加工技術も取り入れながら、地産地消と同時に地域活性化にも役立つ新しい食文化創造への仕掛けを狙ったことがあります。

今後はかかわっていただいた様々な団体と議論を深めながら、長浜の市街に食の情報拠点づくりを行っていきたいと考えています。



アンチエイジング  
のための  
フードセミナー

食の大切さと健康について、フードコーディネーターの関口絢子さんに曳山博物館伝承スタジオでお話いただきました。

※「北近江ブランドマルシェ」は、「長浜みらいまちづくり戦略会議」の発案により、長浜市や、長浜信用金庫などの地域企業や飲食店のグループである「うだつ会」、地域住民によって結成された「北近江ブランドマルシェ実行委員会」が開催したものであります。

記事協力:長浜市・長浜信用金庫(いずれも滋賀GPN会員)

滋賀県では、地産地消の取り組みを広げようと毎月第3日曜日とその前日を「おいしが うれしが」の日と定め、県内産農産物やその加工品を扱う販売店を中心に、のぼりやロゴマークで「滋賀県産」をPRする「おいしが うれしが」キャンペーンを展開中。キャンペーン推進店(食品販売事業者)、またはサポーター(その他の事業者)として登録すると、シンボルマークを使用できます。

<お問合せ> 滋賀県 農業経営課 農産ブランド推進室  
TEL:077-528-3893 FAX:077-528-4882



(株)沢田商店 代表取締役 沢田昌宏さん  
(北近江ブランドマルシェ実行委員長)

北近江ランチ



地元食材に発芽のバイオ技術を使い、フードコーディネーター関口絢子さんのレシピによる「アンチエイジングフードメニュー」と北近江の新米のおにぎりを1000人の方にふるまい、観光客や地元の人には大好評でした。



北近江ブランド  
発掘展



地元の農産物に加えて、バイオ技術の加工食品、地元長浜農業高校の产品も出展されました。



地元食材を使った24の新しい料理がエントリーされました。地元料理店での新メニュー作成につながることが期待されます。



地産地SHOW  
料理コンテスト

## Report 1 評価手法研究会主催 事業所見学会

2008年11月13日(木)、毎年恒例の滋賀GPN評価手法研究会主催による事業所見学会が実施されました。当日はとても天気が良く、総勢26名はマイ箸・マイバッグ持参で参加しました。

午前は大日本スクリーン製造(株)彦根地区事業所へ出向き、環境活動への取組みなどを紹介頂いた後、新設された近江鉄道のスクリーン駅、半導体製造装置の研究開発施設と液晶製造装置の生産施設などを見学しました。中でも太陽電池パネルを採用した研究開発施設や、燃料をA重油から天然ガスに換え大幅にCO<sub>2</sub>排出量を削減したボイラーアー施設、さらに大規模に改修された排水処理施設が目を引きました。特に排水処理施設では、巨大な排水槽が地上から1メートル底上げするように設計・施工され、更にそれらの配管も地中ではなく地上数メートルの高さで組まれており、漏えいの予防策が何重にもとられているのにはとても驚かされました。

午後には京セラ(株)滋賀蒲生工場へと移動し、ショウルーム見学の後、敷地内での緑化・保安林の管理などの説明を受け、こちらも午前と同様に工場内の排水処理関連の施設を見学させていただきました。こちらでも大規模な排水処理施設があり、特に水質・



▲大日本スクリーン製造(株)水処理施設

京セラリサイクルセンターにて▼



土壤汚染の予防に注力されているのが印象的でした。排水槽は二重構造になっています。



「放流先河川よりきれいな状態まで浄化してから排出しなければならない」という創業者の思想を実践されており、排水処理場から出された水は溜め池に通され、そこに泳ぐ鯉たちが水の浄化を我々に証明していました。

お昼の食事やバスの車中にて会員間の交流も深めることができ、楽しく有意義な見学会となりました。



▲大日本スクリーン製造(株)の皆さんと一緒に記念撮影

### 参加者からの メッセージ



東近江市役所 生活環境課  
青木良明さん

今回初めて、事業所見学会に参加しました。見学先はどちらも高度な排水処理対策やCO<sub>2</sub>削減、環境教育等に熱心に取り組まれており、今後の自分の仕事を進めていく上でも大変参考になりました。



(株)ナイキ 彦根工場 技術課  
成宮武さん

両社共、独自のノウハウで排水処理に力を入れられていることが伝わってきました。特に、貯水槽の下に空間を設け地下への漏えいを防ぐ考えは、当社も見習いたい部分でした。また、最終放流の池に鯉を飼い、自然なヨシが生える素晴らしい環境も羨ましく思いました。釣り大会があれば、誘って欲しいですね。

## Report 2 自治体のグリーン購入研究会 全ての自治体を「緑色」に!

### ■はじめに

「自治体のグリーン購入研究会」は、県内すべての市町（26）と1行政組合、そして県のグリーン購入担当者により構成されています。

研究会には、リーダーをはじめサブリーダー数名を中心となってコア会議を開催し、研究会活動の企画・運営にあたっています。

### ■現状

2005年度から、「県内全ての自治体を緑色に」という研究会の目標を定めました。

この目標は、県内の全ての自治体が意識して組織的にグリーン購入に取り組むというものです。

まず、取り組み上の課題を把握するためアンケートを実施したところ、未取組自治体から取り組みが進みにくい理由として「コストがかかる」「手間がかかる（人手不足）」という意見が多数挙げられ、現在では事務用品等のグリーン商品価格は一般品と差がなくなっていることや、商品によってはむしろコスト削減に繋がる場合もあること等の情報が行き渡っていないことが明らかになりました。

自治体のグリーン購入研究会リーダー  
草津市 環境課 藤田雅也さん



また、既に組織的に取り組んではいるものの、その中で様々な課題を抱えている自治体が少なくないことがわかりました。

### ■未取組自治体の解消

グリーン購入法では、国を除く自治体は努力義務となっており、組織的な取組は各自治体に委ねられている状況です。しかし、自治体は大量消費者であり、区域内のグリーン購入の推進には、自治体自身の取り組みが一つの鍵となっています。

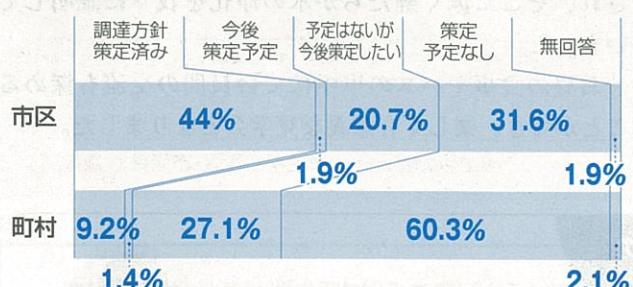
未取組自治体が、組織的にグリーン購入に取り組むという『組織決定』を行おうとする際に、先ほどの『コスト高』、『人手不足』が大きな壁として立ちはだかっています。

これらの課題解決のため、2006年度から研究会では未取組自治体向けの「マニュアル作り」を始めましたが、時期を同じくして、環境省でも「小規模地方公共団体のためのグリーン購入取組ガイドライン」の策定が始まったことから、独自のマニュアル作りを止め、ガイドラインの活用を図ることとなりました。

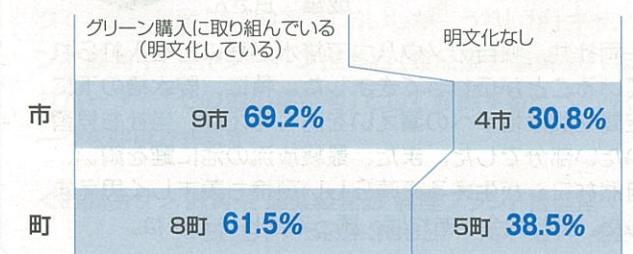
そして、未取組自治体向けのセミナー等を開催しましたが、このようなセミナーには未取組自治体がなかなか参加していただけない状況があり、2007年度には未取組自治体を訪問して「取組ガイドライン」等につ

### 自治体のグリーン購入取組状況

全国（環境省 2007年8月調査）



滋賀県（滋賀GPN 2008年4月アンケート結果）



いて説明し、グリーン購入に関する意見を伺いました。

ここ3年間の成果としては、2町で組織的に取り組む決定を行っていただきました。グラフのとおり滋賀県は全国に比べると統計結果は上回っている状況ですが、それに甘んじることなく今後も100%を目指して活動を進めてまいります。

### ■取組自治体の課題

意識的に取り組むことを決定し、取り組んでいる自治体においても課題を抱えています。『製品情報の入手』と『職員の意識』です。

職員一人ひとりの頑張りに期待する面もありますが、組織としての働きかけができるよう支援ツールを作成することなどを、研究会として今後取り組む新たな課題と位置づけています。



### ■地域住民への啓発

今までどちらかと言うと、自治体の組織としてのグリーン購入をテーマとして活動してきましたが、地球温暖化問題も深刻化する中、自治体にはグリーン購入を地域住民に向けて啓発することが求められています。

来年度、滋賀GPN設立10周年を迎えるにあたり、当研究会では記念事業として地域住民向けの「グリーン購入啓発リレー」を26市町の協力により実施する予定です。この事業を契機として、地域住民への啓発についても研究会活動の一つのテーマにしていきたいと考えています。



### ■グリーン購入研修会を開催しました

2008年11月26日（水）、自治体のグリーン購入研究会の企画により開催した「グリーン購入研修会」では、第2部で自治体職員の情報交換会を行いました。各市町の事例発表のほか、「調達部局」「環境部局」それぞれの担当ごとの分科会で意見を交わし、情報の共有を図りました。



米原市 会計室  
上野 恵さん

今回の研修で、特に興味深かったのは「環境配慮契約法」についてです。現在、当市でも大規模な駅舎の建設を抱えている現状から、公共工事等の及ぼす環境への影響が、その工事期間だけでなく、運用を開始して以降の数十年という長期間を視野に入れなければならないということや、自治体が率先して環境配慮型への移行を推進していくことが必要という話が印象的でした。

#### 参加者からのメッセージ

グリーン購入や地球温暖化防止の基本をしっかりと学ぼうと、本研修会に参加させていただきました。参考になり、とてもよい機会でした。率直な感想として、勉強不足を痛感しました。今後は、自分の立場をよく自覚し、府内のグリーン化を着実に進めながら、職員一人ひとりの意識や実行力を少しでも高めていけるよう努力していきたいと考えています。また同時に、地域住民の皆様へも、グリーン購入の意義を発信していかなければいけないと想っています。



## Report 3 「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」に出展 ～「グリーン購入フォーラム2008 in 滋賀」に310名が参加～



2008年11月5日(水)～7日(金)に長浜ドームで開催された「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」。会場全体の滋賀GPN会員ブースをつなぐ「スタンプ&クイズラリー」のゴールでもある「グリーン購入ひろば」には、会員8団体が協働出展してくださり、相互の交流を深めながら環境配慮型商品やサービスを紹介しました。また、今年もたくさんの会員の皆さんにスタッフとしてご協力いただきました。ありがとうございました！

### 協働出展会員からのメッセージ

環境の規制ばかりが先行する社会の中にあって、自らを律し実行することに重きを置いたグリーン購入の取り組み。協働出展を通して、「自然にも、大切な人に対する優しさと同じ思い」を感じました。



田中建材(株)  
田中菊江さん

当社はストーンペーパーを用いた環境への取組みを紹介させていただきました。初めての出展で不安と期待の毎日でしたが、多くの方にお越しいただき、当社の環境印刷ができるものだと確信することができました。今後も皆様に先端の環境製品を紹介できるよう取組んでいきたいと思います。

### メッセ同時開催セミナー「グリーン購入フォーラム2008 in 滋賀」



- 開催日：11月6日(木)
- 参加者：310名
- 会場：北ビワコホテル グラツィエ

■基調講演  
「低炭素社会実現に向けて、これから企業戦略とグリーンマーケット」  
東京大学生産技術研究所教授 山本良一氏

■基調報告  
「低炭素社会を目指す我が国の取り組みと、アジアの動向」  
環境省総合環境政策局環境経済課課長 石飛博之氏

■パネルディスカッション  
「持続可能な社会をつくるために、企業の役割とビジネス戦略」  
イオングループ(株)常務取締役 環境・社会貢献担当 上山静一氏  
キヤノン(株)環境本部 環境企画センター所長 古田清人氏  
(株)滋賀銀行 取締役頭取 大道良夫氏  
東京大学生産技術研究所教授 山本良一氏  
コーディネーター グリーン購入ネットワーク事務局長 遠藤和也氏

### 参加者からのメッセージ

地球温暖化などの環境問題に対しては企業の力が非常に重要になることを改めて痛感しました。また現状の問題点を認識することもでき、勉強になりました。低炭素社会実現の為にも、弊社もエコアクション21の認証取得(2008年4月取得)をはじめ、さらなる二酸化炭素の削減に努め、更に家庭での取組みにも従業員一同力を入れるようにしていきたいと考えています。



(株)近新 総務部  
奥山賀久さん

ご活用ください！

### 滋賀GPNの出前講座、啓発ツール

#### ●啓発用パネル、ツール等の貸出(会員無料)

地球温暖化、環境ラベル、商品の選び方等に関する各種説明パネルや、自転車発電機、手回し発電機、グリーン商品見本(文具、日用雑貨、衣類等)、お買いものゲームキットなどを貸し出します。

#### ●出前講座

「やってみようグリーン購入」「グリーン購入クイズ」「お買いもののゲーム(大人向け)」など、寸劇やクイズを取り入れ、楽しくグリーン購入を学べるプログラムがあります。

〈お申込み・お問合せ〉滋賀GPN事務局まで



## エコに学べ！

### 「エコ整備・エコ車検」でCO<sub>2</sub>削減に貢献

#### エコクリーン滋賀事務局

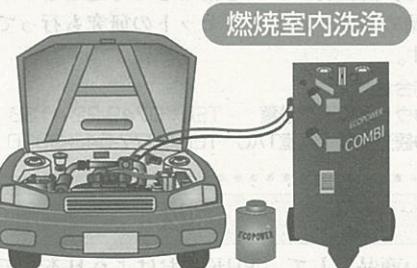
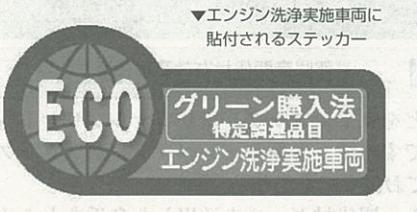
三井住友海上火災保険(株)滋賀支店 業務課 片野泰介さん

#### ■環境にやさしい

「エコ整備・エコ車検」の推進 三井住友海上では、自動車整備業代理店組織である「アドバンスクラブ」を通じてエコ整備・エコ車検の普及に取組んできました。なかでも特殊な洗浄液を用いてエンジン燃焼室内に堆積したカーボンを取り除く「エンジン洗浄」の技術は、不完全燃焼を起こしているエンジンを新車の状態に近づけることができる整備技術です。具体的な効果としては、車から排出されるCO<sub>2</sub>・HCという有害なガスや温室効果ガスとされる二酸化炭素の削減が挙げられます。さらにエンジンが完全燃焼することで、ガソリン車で10%、ディーゼル車で13%の燃費改善効果があるとの学術データ(鳥取環境大学 鶴野教授)も発表されています。

#### ■グリーン購入法の特定調達品目にも規定化

この「エンジン洗浄」は、2008年4月よりグリーン購入法の特定調達品目



#### 編集後記

昨年は、産地偽装や薬物混入など「食」をめぐる事件が世間を騒がせ、「食の安心・安全」が大きく注目された年でした。そんな中で今回は、地産地消キャンペーンをはじめとする「食」を取り上げています。食育基本法前文にも、「人々は、「食」の大切さを忘れない。食生活の改善、「食」の安全の確保の面からも、自ら「食」のあり方を学ぶことが求められている。」旨の表記がみられます。今一度、「食」について考えていただく機会になればと願うところです。

(ニュースレター担当幹事：草津市 環境課 仲川)



環境拠点ラボラトリー

- 1.エコ整備やエコ車検の取組みを進め、地球環境の保護に役立つこと（エンジン洗浄実施）
- 2.環境省などが提唱する「エコドライブ10のすすめ」を推進し、環境保全・燃費向上・交通安全に努めること
- 3.社会貢献活動としてエンジン洗浄の売り上げの一部を環境保護団体などへ寄付すること

#### ■アドバンスクラブ滋賀の取組み

アドバンスクラブ滋賀では、早くからエコ整備・エコ車検に取り組み、また「エコアクション21」認証・登録では上記10社に加え、さらに5社が認証取得に向け取組み中です。これを機に、今後は更なるエンジン洗浄とエコドライブを推進し、エコ整備・エコ車検をPR、滋賀県の環境取組みに貢献して参りたいと思います。

#### ※エコクリーン滋賀会員

- アサヒ自工(株)
  - エビイケ(株)
  - カーネコム・トガワ(株)
  - 園内オートサービス
  - 中川自工(株)
  - 永井自工(株)
  - 西澤自動車工業(株)
  - 三原モータース(株)
  - 村田自動車工業所(株)
  - 和田産業(株)
- (全社が滋賀GPN会員です)

#### 〈お問い合わせ〉

三井住友海上火災保険(株) 滋賀支店  
TEL:077-522-4148

#### 新規入会会員 (2008年7月1日～12月31日)

村防工業(株)、滋賀県産伐材有効利用促進グループ、(株)トヨタレンタリース滋賀、(株)JTBS日本 大津支店、(株)グリーンリボン、(株)丸克製陶所、(有)吉工、しもかわ工務店、三井住友海上火災保険(株)滋賀支店、(株)エビイケ、(株)永井自工、日本観光開発(株)、西澤自動車工業(株)、(株)園内オートサービス、和田産業(株)、アサヒ自工(株)、(株)三原モータース、大王フードサービス(株)、コスガ印判、カーコム・トガワ(株)、(株)中川自工

現会員数: 427 (2009年1月15日現在)  
(企業368、行政28、非営利団体31)

# リレートーク Relay Talk 「だから今、グリーン購入」

## 「安全」と「環境」の両輪でバランスを

株式会社 辻正  
代表取締役 辻 弘男さん



辻正は、100年以上前の宮大工から始まり、株式会社設立からまもなく60周年を迎えるとする建設業です。

この業界におきましても、建設副産物リサイクルなど、環境問題への取組みが求められてきました。国土交通省の発表では、建設廃棄物全体の再資源化率は2005年度で92.2%となっていますが、詳しく見るとアスファルト殻やコンクリート殻が98%を超えており、さ

らに率を上げるため『建設リサイクル2008』で2008年度～2012年度の計画が策定されました（目標は2015年度まで）。2015年度での再資源化率等の目標は94%となっています。3R（リデュース、リユース、リサイクル）への取組みは、これからも永遠の課題であり、私達一人一人が認識を高め、努力する必要があると言えます。

当社では、リサイクルペーパーの使用やSOYINK印刷での社名入り封筒作成、エコマークのユニフォーム採用などは以前より行っており、社員全員参加のまち美化運動での周辺道路のごみ拾い、草引きなども定期的に参画実施しております。また、弊社の作業所（現場）では、協力会社も含めて乗入車のアイドリングストップの呼びかけや、ムリ・ムダのない施工計画を推進中です。ムダがないということ

は、環境にも優しく、コストも削減できる（一石二鳥）ということです。新名神工事では、掘削岩石を中央分離帯に有効活用できました。アイディアと工夫次第で廃棄物を生かした良い実例です。

経営的には厳しい状況が続きますが、従来建設業務では“安全”は利益に関係なく「コストがかかるもの」という認識に、そこへ新たに“環境”を加えた両輪でバランスをとりながら、お客様に喜んでいただける仕事を続けていきたいと考えております。

次回は（株）オーケーエムさんにお願いします。

（株）辻正 甲賀市甲賀町相模141-1  
TEL：0748-88-3200  
FAX：0748-88-3226  
URL：www.tsujimasa.co.jp



### 会員からのお知らせコーナー



#### 滋賀県産間伐材を活用したニュービジネスを展開

滋賀県産間伐材有効利用促進グループ

「身近なところからストップ地球温暖化」を合い言葉に、滋賀県産間伐材の有効利用をテーマとして木工、プリント、デザイン、流通の事業者が集結。個々の生業を活かし、間伐材を使った身近な木製品をお届けしています。

店頭POP、賞状、名刺ケース、ネームカードなどのオフィスグッズをはじめ、ノベルティとして活用していただける携帯ストラップやバッ

ジなどをラインアップ。オリジナルプリントも可能ですので、各種キャンペーンや地域グッズとしてお役立てください。

また、間伐材グッズを活用した身近なところから始めるカーボンオフセットの研究も行っています。

<お問合せ>  
彦根●ウッドワーク滋賀 TEL：0749-22-4138  
大津●観光交流企画室TAC TEL：077-548-3830



#### 信楽焼フクロウが空気をきれいに!!

（株）丸克製陶所

信楽焼の伝統と最先端の光触媒技術が融合したフクロウ型空気清浄器「ほっこりにっこり」。たばこの臭いや花粉、ホルムアルデヒドなどの化学物質までも、チタン成分を含む特殊陶器部分で吸着し、光触媒の働きで分解除去します。LED電球を内蔵し、おしゃれな間接照明としても楽しめます。フィルター交換の必要が無く、電気代は月160円程度と経済的。地球環境にや

さしい商品として、NHK「おはよう日本」で昨秋2回紹介されました。

10種類以上のデザインをご用意。オリジナルデザインも受け付けます。（価格は応相談）写真のタイプは高さ約33cm、重さ約5.7kg、定価48,000円（税込）です。

<お問合せ>（株）丸克製陶所  
甲賀市信楽町勅旨2198 TEL：0748-83-0359

### 編集・発行／滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807

滋賀県大津市松本一丁目2番1号 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:<http://www.shigagpn.gr.jp/>

このニュースレターは、GPN-GL14「オフセット印刷サービス」発注ガイドに基づき作成しています。

**GPN** Green Purchasing Network  
印刷サービス  
印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます